

岩手日報

平成22年7月21日(水)

「優しさ」つながりが大切

北東北の 自殺予防団体 活動報告し交流

自殺予防に取り組む 同市のNPO法人ほ
北東北3県の民間団体 ほえみの会(藤林百合
活動交流会は17、18の 子理事長) 主催。平山
両日、青森県五所川原 誠敏市長のあいさつに
市などで開かれ、約1 続き、青森県立美術館
70人が参加。「優し 舞台芸術総監督の長谷
さ」「つながり」をキ 川孝治さんが「生と死
ーワードに交流を深め を考える」と題し講演。
た。

自殺予防劇「お日様の 句い」作・演出の経緯 族のつながりが希薄な
を交え、地域社会や家 現代にあって、相互信



「生と死を考える」をテーマ
に講演する長谷川孝治さん

頼と傾聴を基本とした 力を合わせてやってい
コミュニケーションの くことが大切」などの
大切さを訴えた。 意見が出された。

公開討論会では傾聴 18日は岩手県精神保
ボランティア、多重債 健福祉センター主任保
務被害をなくす会、自 健師の北川明子さんら
死遺族ら3県の18団体 をコーディネーター、
・個人が活動報告。本 一関市の「心の病と共
県からは岩手自殺防止 に生きる仲間達連合会
センター、盛岡ハート キララ」メンバーらを
ネットが発表。「行政 提言者に3分科会が開
批判ではなく、まず自 かれた。
分たちでできることを